【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公表番号】特表2007-536078(P2007-536078A)
【公表日】平成19年12月13日(2007.12.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-048
【出願番号】特願2007-511930(P2007-511930)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　8/02　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　23/88　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　8/02　Ａ
Ｂ０１Ｊ　23/88　Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成22年4月16日(2010.4.16)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
個々の接触管が、異なる成形体の組成物を有する少なくとも２個の部分を含み、かつ、該部分が多数の接触管の間で均一に設けられるように、成形体で多数の接触管を充填する方法において、その際、
（１）対応する成形体の組成物の均一の量を多数の包装物のそれぞれへ詰め込み、そして、該包装物の同じ数を、該多数の接触管のそれぞれ別々の個々の１つの部分に移すことによって、該多数の接触管中へ充填された、該異なる成形体の組成物を有する少なくとも２個の部分は得られ、
（２）成形体の組成物は、形状、活性材料の化学的組成、活性材料の物理的性質若しくは活性材料の質量比の１以上の手段において異なる、２以上の触媒成形体種類の混合物
又は
触媒成形体および希薄成形体の混合物
からなり、
（３）該それぞれの包装物中の量および組成物は、異なる触媒成形体種類の質量又は数によって決定され、
（４）該多数の接触管のそれぞれ別の個々の１つの部分に移されるべき該包装物の数は１～１０の整数であり、
（５）該多数の接触管は、１０～５０ｍｍの内部直径を有する少なくとも１０００の接触管の束を有し、
および
（６）該それぞれの包装物が５０ｇ～５ｋｇの成形体を含む、
個々の接触管が、異なる成形体の組成物を有する少なくとも２個の部分を含み、かつ、該部分が多数の接触管の間で均一に設けられるように、成形体で多数の接触管を充填する方法。
【請求項２】
該成形体が１～２０ｍｍの最も長い寸法を有する請求項１に記載の方法。
【請求項３】

該それぞれの接触管が異なる成形体の組成物を有する少なくとも３つの異なる該部分を含む請求項１又は２に記載の方法。

【請求項４】

該接触管の内径Ｄと包装物に含まれる触媒成形体の最も長い寸法Ｌの比が２：１～２０：１である請求項１から３までのいずれか１項記載の方法。

【請求項５】

該成形体の組成物は、複合金属酸素を含むＭｏ－、Ｂｉ－およびＦｅ－を有する触媒成形体、並びに／または、複合金属酸素を含むＭｏ－およびＶ－を有する触媒成形体を含む請求項１～４のいずれか１項に記載の方法。

【請求項６】

該包装物が、該接触管の全ての決められた部分に供給するための成形体の十分な量で詰め込まれている請求項１～５のいずれか１項に記載の方法。

【請求項７】

該包装物が、手動で該接触管に移される請求項１～６の何れかに記載の方法。

【請求項８】

触媒充填機の方法によって、該触媒の包装物を該接触管に移す、請求項１～６のいずれか１項に記載の方法。

【請求項９】

触媒充填機が包装物の量部分の収容能力に相当する貯蔵容器を有する請求項８記載の方法。

【請求項１０】

接触管当たり移される包装物の数が、１～５である請求項１から９までのいずれか１項記載の方法。